

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成20年10月23日 (2008.10.23)

【公表番号】特表2008-534860(P2008-534860A)
 【公表日】平成20年8月28日 (2008.8.28)
 【年通号数】公開・登録公報2008-034
 【出願番号】特願2008-504748(P2008-504748)
 【国際特許分類】

F 0 1 D 17/20 (2006.01)
 F 0 1 D 19/00 (2006.01)
 F 0 1 K 23/10 (2006.01)
 F 0 2 C 6/18 (2006.01)
 F 0 2 C 7/26 (2006.01)
 F 0 2 C 9/42 (2006.01)

【 F I 】

F 0 1 D 17/20 M
 F 0 1 D 19/00 S
 F 0 1 K 23/10 M
 F 0 2 C 6/18 B
 F 0 2 C 7/26 D
 F 0 2 C 9/42

【手続補正書】
 【提出日】平成20年9月2日 (2008.9.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

少なくとも 1 台のガスタービンを有するガスタービン設備 (1 a) 並びに少なくとも 1 台の蒸気タービン (2 0) と少なくとも 1 個の蒸気系とを有する蒸気タービン設備 (1 b) を有し、ガスタービン (2) にて膨張した作動媒体 (A M) の廃熱が、蒸気タービン (2 0) を駆動する蒸気を発生するために蒸気系に導入され、始動時の蒸気タービンが始動される前にガスタービンが始動され、蒸気タービンが、蒸気系に最初の蒸気が存在する際に既に始動されて蒸気が供給されるカス 蒸気複合タービン設備 (1) の始動方法において、

上記ガスタービン設備 (1 a) は始動過程全体にわたり最大負荷勾配で負荷増大が行われることを特徴とするカス 蒸気複合タービン設備の始動方法。

【請求項 2】

始動過程時、蒸気タービン (2 0) の加連中に蒸気温度が小さな勾配で増大するように、蒸気系の調和が行われることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

始動過程時、蒸気圧力が連続して増大するように、蒸気系の調和が行われることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

調和が、蒸気系の少なくとも 1 個の蒸気ハイパス装置 (1 0 0 、 1 0 2 、 2 0 0 、 2 0 2) で行われ、この蒸気ハイパス装置 (1 0 0 、 1 0 2 、 2 0 0 、 2 0 2) は、作動媒体

の廃熱の一部で蒸気タービン（２０）の加速および／又は同期のために必要な最低蒸気量が発生され、かつ作動媒体の廃熱の残留部分で蒸気系の圧力上昇が生じる、ほとしか開かれないことを特徴とする請求項３に記載の方法。

【請求項５】

蒸気系における蒸気タービン（２０）の迂回路に通しているバイパス装置（１００、１０２、２００、２０２）が全開されないことを特徴とする請求項３に記載の方法。

【請求項６】

カスタービン設備（１ａ）の基礎負荷に到達するまで負荷の増大を維持することを特徴とする請求項１ないし５のいずれか１つに記載の方法。

【請求項７】

ガス・蒸気複合タービン設備（１）が、負荷増大中にガス・蒸気タービン複合運転に切り替えられることを特徴とする請求項１ないし６のいずれか１つに記載の方法。